

天日 公子

(民主クラブ)

## 市民参加・協働のまちづくり

**問** 平成17年7月からの富良野市情報共有と市民参加のルール条例の、実施状況と課題は。

**答** 平成22年度までに117事業を対象に197の市民参加手続きを実施。市民政策提案1、パブリックコメント97、意見交換会27、審議会51、アンケート・縦覧など21、参加延べ人数5,577人。市民の参加機会が拡大されて来たがパブリックコメントで提出された意見数は99件で、一事業あたり1・0件と提出意見が少ない。今後、一事業に対する手続き方法の複数化や、実施時期の適正化など、より参加しやすい環境を作る努力を継続する。

**問** 協働のまちづくりにおいて市民と行政の役割分担は。

**答** 市民と行政は、対等の立場と位置付け、市民の役割は自らをまちづくりの主体の一員として、培ってきた能力を活用し市

民参加によって、市民にできるサービスを担う。行政はまとめ役として、市民が主体となって行うまちづくり活動への協力・支援を行うとともに、公平性や安定性が求められる市がやるべきサービスの提供や、市民活動団体同士の連携・協力ができる仕組み作りを行う役割である。

## 耐震改修促進事業の現況

**問** 住宅耐震化の現況と補助金利用者は。

**答** 現在まで2件の申請。助成制度の更なる周知と、今後の耐震化の進捗状況をみながら、施策内容の検証と、必要に応じ計画の見直しも含め、安全・安心な住まい作りの推進に努める。



富良野市耐震改修促進計画

広瀬 寛人

(ふらの未来の会)

## 北時計の取り扱い



富良野市所有の旧「北時計」

**問** 現状と今後の活用方法は。

**答** 所有者より寄付の申し出があり、昨年12月末で富良野市の所有となった。

「北の国から」放映30周年記念事業実行委員会からドラマのメモリアル的な施設として「おもてなし」を提供する施設としての利用要望があり、準備が整い次第、無償で貸付の予定。これ以降の将来的な活用は、白紙の状態です。今後、現在の外観の維持

を基本に各関係団体の意見を聞きながら様々な分野における活用の可能性を検討する。

## 個人住民税における寄附金税制の周知

**問** 東日本大震災に関する義援金の対象実態及び拠出者に対する情報提供と受領書の発行対応は。

**答** 6月9日現在、553件で2,107万円。確定申告時に必要となる日本赤十字社の発行する証明書が必要であるとの申込みは、294件。制度周知により証明書類の追加発行依頼があった場合は、赤十字社への申請を行う。

## 街路樹の選定および管理体制

**問** 最近の管理状況は。

**答** 近年の街路樹による花粉飛散、マイマイガの幼虫等害虫の大量発生など苦情も多く管理体制に苦慮している。落ち葉処理については、シルバー人材センターへの清掃委託と町内会単位での有志の皆さんによる清掃協力をお願いし、収集運搬については市が行なう。